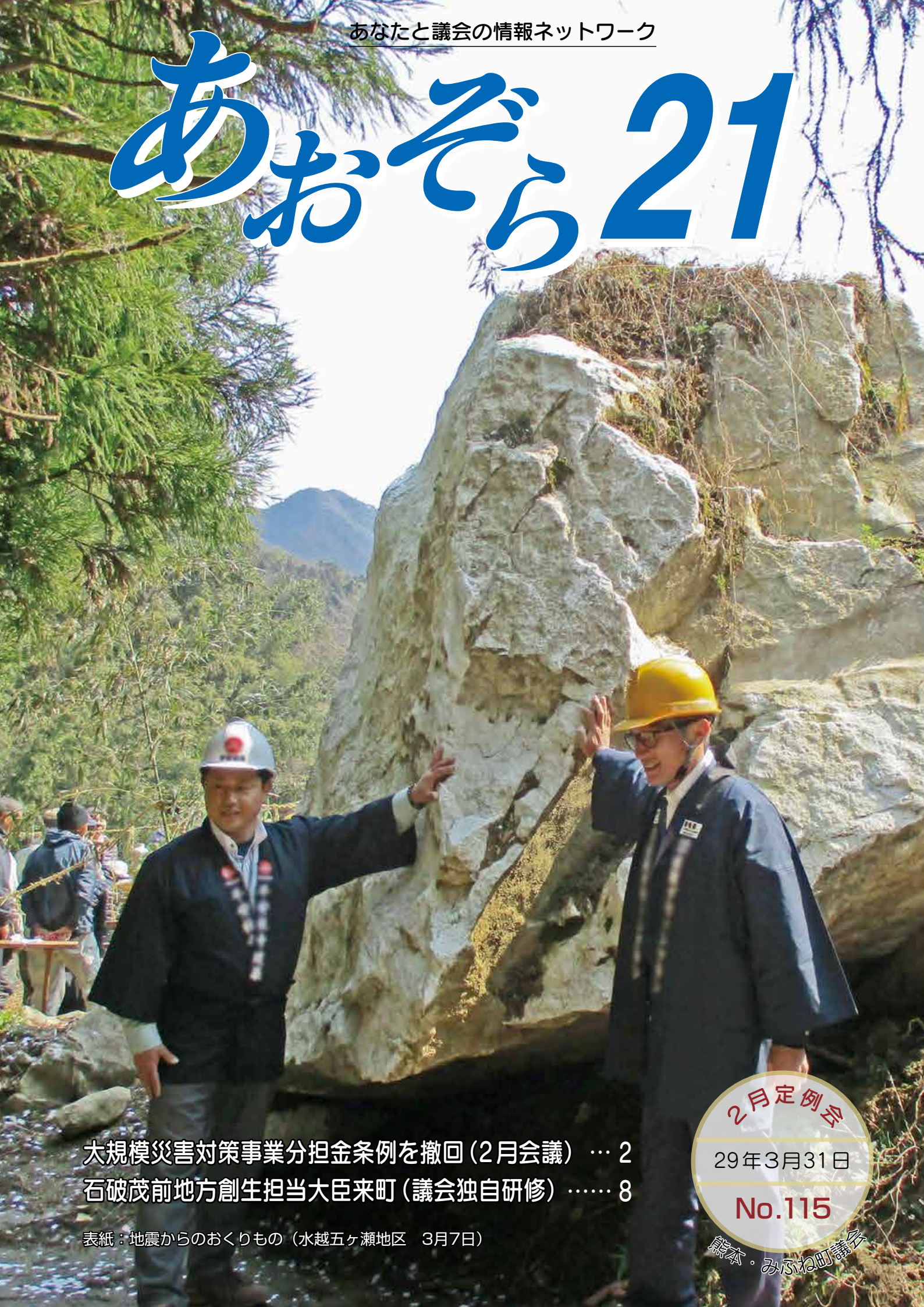
あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21



大規模災害対策事業分担金条例を撤回（2月会議）… 2
石破茂前地方創生担当大臣来町（議会独自研修）…… 8

表紙：地震からのおくりもの（水越五ヶ瀬地区　3月7日）

2月定例会
29年3月31日
No.115
熊本・みふね町議会

2月会議

大規模災害対策事業分担金条例を撤回

2月会議を2月9日から12日に開催した。28年度一般会計補正予算を含む議案等5件を審議採決した。

２月議会で決まったこと（２月９日）

議案号数	簡易議案名	概　　要	質疑・討論の有無	採決結果
報告9	専決処分の報告について	損害賠償額の決定	無	報告
報告10	専決処分の報告について	損害賠償額の決定	無	報告
議案35	御船町大規模災害対策事業分担金条例の制定について P2～		有	
	議案の撤回について P3	御船町大規模災害対策事業分担金条例の制定の撤回	無	全会一致
議案36	御船町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	審理員の報酬額を定める	有	全会一致
議案37	平成28年度御船町一般会計補正予算（第９号）について P3	熊本地震に係る補正予算等 予算総額 歳入歳出　21,661,870千円	有	全会一致
議案38	平成28年度御船町情報通信基盤施設運営事業特別会計補正予算（第２号）について P7	熊本地震に係る補正予算等 予算総額 歳入歳出　68,504千円	有	全会一致

御船町大規模災害対策事業分担金条例の制定について

中城議員　宅地耐震化推進事業はどんな場合に適用されるのか。

松岡建設課長　町内３カ所の大規模な盛土造成地域で被害が発生した。その地域が対象。

中城議員　大規模盛土以外の地域は対象にならないのか。

松岡課長　対象にならない。

中城議員　今朝の新聞に他市町村では宅地耐震化事業は全額公費負担とする記事が掲載されていたが、再検討する考えはないか。

松岡課長　受益者負担金の割合は、郡内の各町と調整の上決定した。

福永議員　今後上益城郡の他町の動向によっては、御船町だけ分担金をとるということにもなりかねない。住民感情として納得できないのでは。

田端議員　御船町の工事分担金条例と今回の違いは理解できたが、今回の宅地耐震化推進事業関連、それから災害関連地域防災がけ崩れ対策事業関連について、対象戸数が何件で、総額がいくらかということは把握しているか。

松岡課長　大規模盛土地域は辺田見、小坂、滝尾の３地域。対象戸数として、辺田見が108戸、小坂が66戸、滝尾が97戸、事業費が辺田見地域が約2.4億円、小坂地域が約2.3億円、滝尾地域が約2.4億円。

田端議員　他市町村で個人の負担金を取らないと公表された。町民感情が今後どのように揺れ動くのか心配、本条例はしっかりした議論と判断をして制定しなければならない。

議案の撤回について

藤木町長　ただ今開会中の町議会に提出している「大規模災害分担金条例」の議案は、熊本地震の発生により町民が今なお過酷な状況に置かれていることを踏まえ、今後、町民の復興を最優先するためにも、今回の提案は適当でないと判断し撤回する。

田上議員　撤回理由はわかったが、今回提案の本条例について、今後どのようにする考えか。

藤木町長　他町村の動向を見極めて再考していく。

一般会計補正予算

高木小学校屋外トイレ

藤川議員　９月議会で高木小学校の野外工事の設計監理委託料は、減額補正で金額は258万円。今回は356万円、この増額の説明を。

米満学校教育課長　前回は、解体の部分が入ってなかった。今回文部科学省から、追加補正で前倒しでやらないかという通知が来たので建築計画を立てた。検討した結果、同一場所での改築になったので、解体工事分が今回の増額になった。

藤川議員　設計が出てないのに工事の予算を出すのか。

米満課長　今回は、文部科学省から平成28年度予算で前倒しでやらないかという話があり手を挙げた。だから２月議会で予算を獲得し、繰り越すような感じで今考えている。

小坂小学校改築

藤川議員　解体費はいくらか。

米満課長　小坂小学校の解体費用は、概算で2,230万円程度を予定している。

藤川議員　この2,230万円の図面はできているのか。設計事務所はどこか。

米満課長　図面はまだ完成していない。詰めの段階と聞いている。３月に全部完成する予定。

藤川議員　解体が３月は行われないと言われたが、解体の設計監理はできているのか。

米満課長　まだ報告は上がってきていない。平成28年７月議会で設計費用を承認いただいて、文化建築社と契約を交わしている。

藤川議員　春休みに工事を行うには、間に合わないのでは。

米満課長　報告書が上がって指名審査委員会等を開き、入札通知を出して入札を迎えるわけだが、約１カ月ぐらいかかる。２月中旬に上がってくれば３月中旬に入札できる。

藤川議員　準備に１カ月、入札は３月中頃。準備期間もあり、入札してから２週間すると新学期に入ってしまう。給食室の関係もあり大丈夫か。

米満課長　今回解体して８教室を新築する場所とは違う。影響が出ないところで今計画をしている。

米満課長　昨年９月議会で、工事費で2,028万3,000円、設計監理委託料で258万円減額している。この減額した金額は、見積り単価の見直しを行った関係である。

藤川議員　単価の見直しで、設計委託料も上がったということか。

米満課長　単価の見直しで工事費が約180万円程度、また約100万円近く設計委託監理も上がっている。

藤川議員　設計委託料、工事請負料まで上がっているが、設計はもうでき上がっているということか。

米満課長　あくまでも今回計上しているのは、設計をするための概算費用を計上している。

藤川議員　小坂小学校の場合は設計委託料として出ていた。今回も設計委託料だけで、工事金額はだせないのでは。

震災復興が進む高木小学校グラウンド

米満課長　基本的にはそうだが、あくまでも工事費は概算費用である。高木小学校の場合、既存で12平方メートルのトイレがあるが、今回計画しているのが約25平方メートル。多目的トイレも一応併設しようと思っている関係で、総面積約25平方メートル。概算費用で一応見積りを取っている。

藤川議員　設計は行われたということか。

米満課長　まだ設計は行っていない。設計を行うための概算費用を今回計上している。

藤川議員　普通は設計が行われて工事金額が出てくる。この場合の予算は、もう設計も監理料も工事金額も出ている。どういう順序でこの工事金額まで出したということか。

米満課長　基本的には、国土交通省が示している計算式で計算した。例えば工事費用を入力すると設計費用が出てくる計算式がある。今回の予算はそれに基づいて出している。

藤川議員　こういうことは全然委員会に説明がない。委員会で説明すればスムーズにいく。委員会は無視しているのか。

米満課長　議会の承認を得て予算を取るわけだが、その予算をもとに入札になる。そして入札の後、学校と委員会で打ち合わせをして、図面を完成させることになる。

藤川議員　予算だけ取って繰り越すということか。それなら委員会を開いて説明をすればよかったのに。小坂小学校の予算で、工事金額の中に解体費用などは含まれているのか。

米満課長　解体費用も含まれている。

藤川議員　解体の設計委託料はいらないのか。

米満課長　平成28年７月議会、補正（第４号）予算計上して議会の承認を得ている。

藤川議員　小坂小学校の場合は設計はでき上がっているのか。

米満課長　報告書は上がってない。

藤川議員　解体は大体いつ頃の予定か。

米満課長　３月中に入札して着工したい。

解体される小坂小学校校舎

プレハブ校舎（小坂小学校）

財政調整基金へ積立

中城議員　特別交付税が12月に６億円交付をされ、全額を財政調整基金に積み立ててあるが、町債は50億円になっている。財政運営上、貯金と借金、町債とのバランスはどのように考えているのか。

藤本企画財政課長　積立金６億円、原資は特別交付税である。災害で平成27年度の財政調整基金、残額12億6,000万円

ぐらいあったのを、ほぼゼロになるまで取り崩した。財政調整基金は、不意の財政需要にいつでも取り出せる定期預金のようなものだ。財政調整基金はできるだけ多く積み上げておきたいというのが基本的な考え方である。

中城議員　特別交付税は12月に６億円交付された。これは大体３分の１で残りは３月ということなのか。

藤本龍課長　当初予算では、特別交付税１億２千万円ほどの予算組みをしていたが、震災のせいで12月の特別交付税６億７千万円は異例の金額であった。ただ、３月にまた特別交付税が来るが、金額はわからない。同額は望めないと思っている。

ふるさと納税

田上議員　ふるさと納税が、町長の行政報告で随分増えたと報告があったが、昨年度末は何件の幾らだったのか。

藤本龍課長　件数は覚えていないが、金額は153万円だった。

田上議員　かなり増えているということだが、他町に比べるとまだまだ少ないと思う。お礼品の品数も増えているが、もっと魅力ある目玉品はないのか。

藤本龍課長　ふるさと納税の返礼品の事業希望者に、説明会を開催した。今後は積極的に取り組んでいく。業者にも素晴らしい返礼品の提案をお願いした。

放課後児童クラブ利用料の減免

田上議員　放課後児童クラブの交付金について説明を。

坂本こども未来課長　230万7,000円については、熊本地震関連で家庭の経済的負担を軽減する意味がある。り災の状況に応じて全壊、大規模半壊、長期避難の世帯に１年間、４月から翌３月までの保育料を全額無料に。半壊の世帯に関しては、１年間利用料を半額にする。

給食センター防塵対策

田上議員　町民グラウンドの仮置場、工事費とあるが、何を工事するのか。

宮崎環境保全課長　給食センター側の仮囲いを設置する工事で、防塵対策である。

被災した家屋の解体状況

田上議員　行政報告では進捗率が49.2％ということだが、実際の具体的数字は。

宮崎課長　１月30日現在で総件数が1,177件、棟数に直すと1,445棟調査済。業者にお渡しする調査済件数が1,015件、今現在着工中が158件、日程は未定というのが335件、業者が済んでいない件数が208件、竣工済が306件、保留件数が８件、合わて1,015件、現在解体済件数は431件。

田上議員　終了はいつごろか。

宮崎課長　震災当初、平成29年度末と想定をしていた。解体業者等の協力もあり、申込が上がっている件数は、12月には終わる見込み。

臨時職員の募集状況

田上議員　土木の任期付職員は何人募集したのか。

松岡建設課長　９人を募集をしたが全く応募がなかった。

田上議員　これをすべてコンサル会社に任せるということは、コンサル会社も９人で対応か。

松岡課長　２月と３月に分けて３人ずつ、２月３人、３月３人委託をしたい。

田上議員　他の課は、仕事量に対して人員不足はないのか。

吉本総務課長　他の課は、不足しているとは聞いていない。平成29年度は施工が始まるので、施工監理の職員が不足すると考えている。

田上議員　農業振興課は、今のメンバーで十分と考えているか。

吉本課長　今の人員で満足しているということではない。平成29年度も全国の知事会、市長会、町村会にも依頼をかけている。町長は独自で、これまでに短期の支援を受けたところなどを回って、じかに職員の派遣要請を行っている。

田上議員　人員不足が原因で、大きなミスが起こって、町民に迷惑がかからないようにしてほしい。

藤木町長　御船だけが極端に来てないとか、どこが多いとかじゃなくて、各町苦労している。県内の首長が手を取り合って、各町長が先頭に立ち人員関係をしている。

滝尾小に戻ってきた子どもたち

田上議員　滝尾小学校が９カ月ぶりに使えるようになったが、問題なく使えているのか。

本田教育長　ＰＴＡの方々、地域の方々が定期的に学校を訪れて草取りをしたり、用務員の先生に至っては、１週間に一度ぐらい学校を訪れて、

再開された滝尾小学校

各教室の掃除や、周りの清掃等も行っている。滝尾小学校も被害を受けていたが、12月までにすべて工事を終えて、１月に無事に子どもたちが帰った。子どもたちも落ち着いて登校している。

田上議員　通学路は、本当に安心なのか、安全なのか、気になっている。保護者からもそういう意見が出ているが。

本田教育長　学校から手前はかなり強硬な工事をしていただき、片側通行ではあるが、子どもが安全に通学する通学路が確保されている。学校から下鶴橋方面は、きちんとした歩道が完備されていない。下鶴橋方面から登校する２人の児童は、今保護者が送り迎えをされている状況。下鶴橋までの通学路の安全性の確保は、早急に何とかできないかお願いをしていきたい。

防災行政無線に着手

田上議員　防災行政無線はどうなっているのか。

吉本課長　防災行政無線は、今の時点では、平成29年度から着手する予定。

沖議員　高木小学校のトイレの場所は。

米満課長　体育館と校舎をつなぐ渡り廊下あたりを考えている。

沖議員　校舎から体育館へはどう行くのか。

米満課長　渡り廊下はほぼ変わらない状況で置きたい。現在は12平方メートル、今度新築で25平方メートルになるので、北側倉庫を取り壊して、そこも含めた形で25平方メートルできないかなと考えている。

沖議員　今のトイレの部分を利用するということか。プールと渡り廊下のところにはトイレを造るスペースはないと思うが。

米満課長　既存のトイレの部分、それとプールとの間に25平方メートルは取れないので、渡り廊下のＬ型の北側にある倉庫も含めた形で、25平方メートルできないかと考えている。

沖議員　学校、ＰＴＡ等、話し合いはできているのか。教育委員会が一方的に、ここに造りますなのか。

米満課長　昨年当初予算計上したときに学校にも話はしている。学校側から、地域と共有するので、車いすでも利用できるトイレを１つ造ってもらえないかという要望があり、設計事務所に相談し25平方メートルという面積が出てきた。既存のトイレ面積では25平方メートル確保できないので、Ｌ型になっている北側倉庫も含めた形で新設のトイレができないかなと思っている。

沖議員　それは洋式か。

米満課長　設計はできていないが、多目的トイレだけは洋

式にしたい。あとは学校と相談して和式にするのか、洋式に全部するのか決定したい。

沖議員　設計ができているのか。

米満課長　今回予算要求しているのは設計費用、まだ設計はできていない。あくまでも概算費用として設計するのに予算計上している。

沖議員　学校と地域、ＰＴＡと十分話し合ってもらいたい。生きる力を育む研究の補助金について説明を。

本田教育長　小坂小学校と御船小学校への補助金の分で、小坂小学校は外国語教育、英語教育に対する補助金で、御船小学校は本年度から道徳教育に取り組んでいる。両方とも県の指定を受けており、頑張っていただこうという意味での補助金である。

沖議員　町単独の補助金なのか。

本田教育長　県と半分半分で、総額はちょうど倍になる。

中城議員　農家の自力復旧支援事業交付金だが、174件というのは１月31日で区長が取りまとめをしたものか。

松永農業振興課長　そのとおり。３月中までに工事が完了する予定の箇所。４月以降ついては、要望調査等行って金額を確定したい。

中城議員　地震ででこぼこになったところの整地はできるが、暗渠排水は対象にならないのか。

松永課長　この事業は、被災農地を元に戻すということなので、この事業に該当するかは、県に確認したい。

中城議員　元の田んぼに戻すということになると、暗渠排水の修理も関連すると思う。ぜひとも復興基金で事業対象を拡大できるようお願いしたい。

松永課長　暗渠排水等の事業も、この基金事業で対応できるよう要望していきたい。

情報通信基盤施設運営事業特別会計補正予算

福永議員　全部繰り入れだが、交付金その他の手当、公的手当、補助等は存在するのか。

吉本総務課長　補助金等の特定財源はない。

福永議員　純粋に基金が減っただけということか。

吉本課長　そういうことになる。

中城議員　熊本地震災害に係る保守委託料で終端装置撤去費40件とあるが、例えば家が全壊してＢＢＩＱを解約されたという件数か。

吉本課長　40件は地震によって休止の措置をとられた方。

中城議員　休止したり解約をされたケースもあると思うが、増えたのはあるか。

吉本課長　平成27年度末の利用者の方が1,674件で今年の１月１日現在で1,634件と、約40件ぐらい減っている。震災で移転を余儀なくされた方、廃止された方がいると思うが、同時に新規加入もありこの40件の差になっている。

震災により破損した終端装置

２月議会における議員の発言（質疑）回数	田端	森田	岩永	中城	福永	田上	藤川	池田	清水	塚本	田中	沖	岩田	井本
	9	0	2	17	8	21	25	1	0	―	0	12	0	議長

上記の表は2月議会の質疑において、発言のために議長から指名された回数を「発言回数」として掲載しています。
発言内容等に関しては、議会傍聴や議事録で確認されることをお勧め致します。

独自研修会

石破茂前地方創生担当大臣 来町

御船町議会議員　**清水　聖**

講演する石破茂前地方創生担当大臣

２月27日(月)、石破茂前地方創生担当大臣を講師に招き、議会独自研修会を開催した。参加者は約90人。

演題は、「地方創生及び熊本地震からの復興について」。

人口減少などの日本が抱える問題から東京が抱える首都直下型地震、急激な高齢化の問題などをわかりやすく説明された。

また、景行天皇の船が御着したことによる町の名前の由来や、２日間ではあるが県庁があったこと、玉虫御前など歴史の宝庫である御船町の可能性についても言及された。

まとめとして、地方創生成功の鍵は「産(産業に携わる人)」「官(役場)」「学(学校・学生)」「金(地元の銀行・信用金庫等)」「労(労働組合)」「言(地元のメディア)」が整っているところであり、「やりっぱなしの行政」「頼りっぱなしの民間」「無関心の町民」がそろったところは失敗するとのことであった。

国会での審議があったため町での滞在時間は約２時間ではあったが、議会だけでなく町にとっても大変有意義な研修であった。

石破代議士は、研修の前に仮設住宅を視察し、入居者(ふれあい広場)との意見交換を行った。

仮設住宅入居者への慰問

庁舎内を視察

政務活動報告

災害は初動が重要

報告者 御船町議会議員　**福永　啓**

講師の高野甲子雄先生（左から５番目）

１月16日（月）、政務活動費を使った研修の1つとして、高野甲子雄氏を招き防災に関する研修会を開催した。

高野氏は、ホテルニュージャパン火災の時の救助隊長で、プロジェクトXなど、マスコミでも取り上げられることも多い方である。

会場は御船消防署３階の会議室を利用し、地域の方々や消防団員、消防署員の方々など、自由に参加できる形とし、私たち議員以外にも100名ほどの参加者があった。

「伝説の消防士」とも呼ばれる高野氏だが、まず小柄で柔和な出で立ちに驚かされた。

話の内容は現場主義を貫いた一流ならではの説得力があった。

「災害は初動が重要である」「その場に応じ、臨機応変に行動すること」。あたり前のことだが、それが非常時にできなくなることも多い。その当たり前のことをするためには「まず深呼吸、落ち着くこと」。

高野先生のお話は、ニュージャパン火災や、東日本大震災時の体験など、多岐に及び興味深かったが、災害時の対応について、たとえ理解していたとしても、落ち着いて、やるべきことをやることの難しさを実感した私達被災者にとって、大変有意義な研修会であった。

議会広報紙「特別評」受賞

議会広報編集特別委員会

昨年５月に発行した御船町議会広報紙特別号が第31回町村議会広報コンクールにおいて「特別評」を受賞した。

これは、平成28年熊本地震発生直後の厳しい状況下にあっても、議会広報紙を発行し、住民の安全確保と不安解消に努めた当議会の姿勢が評価されたことによるもの。昨年度の特別奨励賞（企画・構成部門賞）に引き続き２年連続の受賞となった。

議長より伝達

■編集：御船町議会広報編集特別委員会　■発行：熊本県御船町議会　電話096-282-1386　FAX096-282-1476　HPアドレス：http://portal.kumamoto-net.ne.jp/town_mifune/gikai/

かがやく ひと

あれ（熊本地震）から１年

古閑原
川口 勝行さん

昨年４月14、16日の２夜連続の巨大地震からもうすぐ1年になります。みんなが初めて経験したあの恐怖、地震は一瞬にして多くの建物や土地を破壊して、さらには一番大事な心にも大きな傷を与えました。御船町でも尊い命が奪われました。心からご冥福をお祈り申し上げたいと存じます。被災して傷を負いながら、共に助け合い、各地から駆け付けてくれたボランティアの支援によって、ようやく落ち着きを取り戻しました。

さて、町内には46名の民生委員がいますが、その６割近くが半壊以上の被害を受けました。我が家のことは差し置いて、地域や避難所での支援などの見守り活動が続きました。こんな時こそ地域の支え合い、助け合いが一番大事だと地震は教えてくれました。

振り返れば地震が来る前、民児協３月定例会で地震についての勉強会をしました。県の防災士の資格を持つ下野委員から、日奈久断層の話や家具の転倒を防ぐL型金具や木材、紐などを使って簡単にできる防災対策を学んだのです。しかし、１か月後に巨大地震が来て、家はもとより多くの家具も壊れてしまいました。勉強会をしたのに対策を先送りして実行してなかったのです。聴いて、見て、学んだことはすぐやっておくべきでした。

現在、町には21か所に仮設住宅ができて、ほぼ入居ができました。これからは復旧・復興に向けて頑張る時です。地震に負けないでお互い助け合い、支え合って一緒に頑張りましょう。何かお困りのことがありましたら、お近くの民生・児童委員にご連絡ください。

編集後記

熊本地震から約一年が経とうとしている今尚、多くの爪痕が残る。その一つ水越五ヶ瀬の林道に高さ3m、周囲12m、重さ約150tの巨大岩石が落ち、道を塞いだ。ネットオークションにかけられ2,400円で落札された。3月7日大安吉日に安全祈願祭が行われた。水越とゆかりがある菊池神社坂本宮司に神事を務めて頂き地元関係者、工事関係者等が集まりおごそかな内に無事終了。その後地元で用意された手料理と水越の歴史の話で盛り上がった。

工事は4月上旬頃より始められる。

清水　聖

安全祈願祭後に記念写真

議会の予定 4月

2日	通常点検
3日	議会運営委員会
5日	公立保育園入園式
10日	全員協議会（予定）
	広報編集特別委員会
	議会改革推進特別委員会
11日	小中学校入学式
13日	議会（予定）
14日	熊本地震追悼式（県庁）
18日	視察受入（秋田県美郷町議会）
20日	視察受入（福岡県柳川市議会）
23日	第八師団（自衛隊）記念行事
28日	一般廃棄物処理施設整備促進協議会

議会広報編集特別委員会
発行責任者　井本　昭光
委員長　田上　忍
副委員長　岩永　宏介
委員　岩田　重成
委員　清水　聖
委員　中城　峯雄
委員　森田　優二